

いきものとなかよし



#江田島 #海辺の生き物 #観察 #体験 #生活科

単元の概要

江田島の海辺にいる生き物を探したり観察したりする活動を通して、それらの育つ場所、動きや特徴に関心をもって働きかけることができ、身近な生き物の様子や特徴、生命をもっていることに気付くとともに、生き物への親しみをもち、大切にしようとするができるようにしていきます。

【本質的な問い】(何度も問い直され答えが更新され続ける「問い」)

○自分たちの身近にはどんな生き物がいるのだろう。

【単元を貫く問い】(単元を通して考え深めていく「問い」)

○鹿川の海辺にはどんな生き物がいるのだろう。

【単元の目標】

○幼児期やこれまでの経験を思い起こしながら、生き物のいそうな場所を探す中で、生き物の種類によって、育つ場所が異なることに気付くとともに、海辺の生き物に親しみをもち、これからも生き物を大切にしようとするができるようにする。

活動の様子 (全4時間)

【導入(1時間)】

- これまでの経験を想起しながら、江田島の海や海辺にいる生き物について知っていることを出し合う。
- 海辺で生き物を観察するときに気を付けることについて確認する。

【実行(2時間)】

- 学校の近くの海辺に歩いて行き、生き物を探し、捕まえ、動きや特徴を観察する。



生き物観察の様子



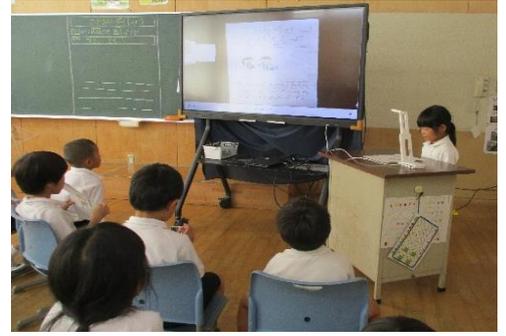
生き物観察の様子



生き物観察の様子

【振り返り(1時間)】

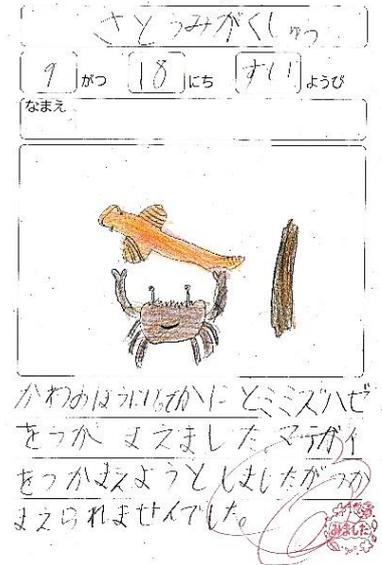
- 海辺の生き物観察について振り返る。
- 記録カードに生き物についての気づきや感想を書く。
- 電子黒板を使って、記録カードに書いたことを発表する。



発表の様子

児童生徒の変容

- 身近な環境にいる生き物を探したり、観察したりする活動を通して、生き物への親しみをもち、生き物を大切にしようとする事ができる児童の育成を目指し、本校の児童にとって身近な海辺の生き物を観察する活動を行った結果、これまでの経験を生かして、生き物がいるような場所を推測しながら生き物を探したり、捕まえた生き物をじっくり観察し、友達と気付いたことを伝え合ったりする児童の姿がみられた。
- 振り返りで記入した記録カードには、「ミミズハゼがちいさくてかわいかったです。」「ヤドカリをいっぱいつかまえて、とてもおもしろかったです。」「かわのほうにいて、カニとミミズハゼをつかまえました。」「ヤドカリやカニを見つけました。ともだちと一しょにさがしたので、みつけやすかったです。」といった記述がみられた。



記録カード

連携機関・団体・人物

【海辺の生き物観察】さとうみ科学館 西原直久館長



さとうみ科学館 西原館長

成果○と課題●

- 体験活動により、児童にとって身近な環境である海辺の生き物への興味、関心を深めることができた。
- さとうみ科学館の西原館長に指導していただいたことで、より専門的な知識に触れ、学習の効果を高めることができた。
- 年に1回ではなく、複数回行うことで、季節ごとの海辺の生き物の様子や特徴に気づき、より一層生き物に親しみをもつことができるのではないかと感じた。

Catch Your Dream!



#江田島の魅力 #江田島への愛 #カヤック #サップ

単元の概要

探究的な見方・考え方を働かせ、地域の教育資源を生かした総合的な学習を行うことを通して、目的や根拠を明らかにしながら課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力の育成を目指す。

【本質的な問い】(何度も問い直され答えが更新され続ける「問い」)

○江田島にとって、本当に必要なことは何だろう。

【単元を貫く問い】(単元を通して考え深めていく「問い」)

○江田島の魅力をより良いものにするための効果的な活動は何だろう。

【単元の目標】

○江田島への思いをもちながら、様々な活動をされている地域の人々と触れ合うことを通して、江田島の魅力を再認識するとともに、自らの江田島への思いを見つめ直すことができる。

活動の様子 (全 20 時間)

【情報収集(4時間)】

- 「江田島人物図鑑」を参考に、江田島で活動されている方々の情報を得る。
- 話を聞いてみたい方を決め、質問事項を考え、伝え方を学び、練習する。
- 電話のかけ方を学び、練習し、アポイントをとる。
- 直接お会いして話を聞き、質問し、メモを取る。



おきらくや経営者 吉岡さん

【課題設定(4時間)】

- ゲストティーチャーの話から、江田島に対するそれぞれの思いや考えをふり返る。
- 江田島の魅力をより良いものにするためのプロジェクトを考える。
- グループごとにプロジェクトの詳細を企画し、活動計画を立てる。

【情報の収集・整理・分析(6時間)】

- 課題を解決するために、見学のふり返りや ICT を活用しながら情報を収集する。
- 収集した情報を整理・分析し、効果的な発信方法や活動方法を検討し、準備を進める。

【実行(2時間)】

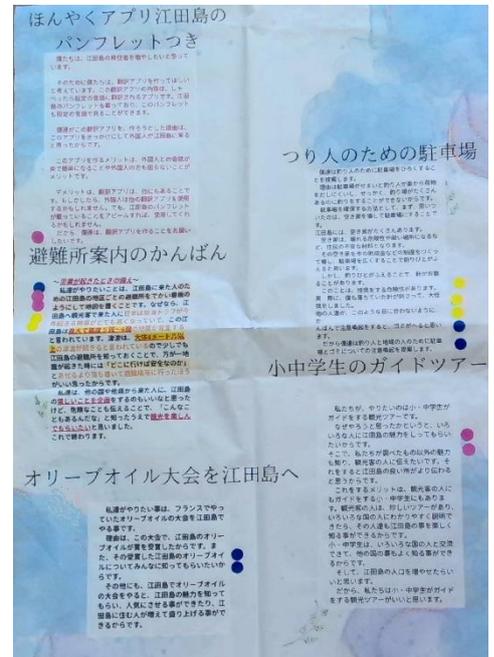
- 企画したプロジェクトを実行する。

【まとめ・創造・表現(2時間)】

- 実行したプロジェクトの成果をまとめ、分析する。

【振り返り(2時間)】

- 実行したプロジェクトのふり返りを行い、成果と課題を確認する。
- 成果と課題をもとに、更なるプロジェクトの案を考える。



グループごとに企画したプロジェクト

児童生徒の変容

- ゲストティーチャーの話から、「自分の生活の場所」から「自分の生活している江田島は魅力ある場所」と感じることができた。
- 児童の中の江田島とは、今まで「海の恵み」だけにスポットをあてていたが、様々な職種の方と触れ合うことで、江田島について多方面から考えることができた。

連携機関・団体・人物

- 【見学】おきらくや 吉岡孝浩さん
- 【見学】しまのぱん souda! 西村京子さん
- 【見学】川口農園 川口利恵さん
- 【講話】体験民宿コンベイ 川本良雄さん・川本一美さん
- 【講話】エタデン 向井雅文さん
- 【講話】ブリコラージュ 空本健一さん
- 【体験】サップ・カヤック江田島 SUP・江田島カヌークラブ



コンベイ 経営者 川本夫妻

成果○と課題●

- 単元の導入において、「サップ・カヤック体験」を通して、里海に親しむ経験をもつことができた。
- 様々な人材をゲストティーチャーとして迎えることで、江田島の魅力を多方面から考えることができた。
- 校外の方々と児童をつなげることで、相手意識をもった話し方や対応の仕方を身に付けさせることができた。
- 個人での活動は難しいと考え、協働的な学習をねらってグループ活動を仕組んだが、主体的な学びが難しい児童にとっては、更なる手立てを用意した上で、個別学習が望ましかったと思う。